

中島地区リニューアルプロジェクト*

Nakazima Area Renewal Project in Muroran

神野雅明**・小泉賢一***

By Masaaki Kanno** and Ken-ichi Koizumi***

1. はじめに

室蘭市は、明治3年に入植が始まり、明治5年に港が築かれて以来、製鋼所や製鉄所が臨海部に次々と開設され、港湾と工業の街として発展してきた。

地形は、絵鞆半島が太平洋に馬蹄形に突き出し、内部には天然の良港・特定重要港湾『室蘭港』を擁し、太平洋に面した外側は地球岬など極めて変化に富んだ自然景観を呈している。

室蘭市は総合計画の中で、恵まれた自然と長い間培われた高度な技術・優秀な人材などの多くの資産を活用し、時代の流れに対応したまちづくりを進めるため『人間性豊かな海洋・科学技術都市』を、まちの将来像として掲げている。

現在、室蘭港を跨ぐ白鳥大橋の工事が、平成10年の完成を目指して進められており、この橋の建設により、本市の幹線である国道36号及び37号を結んだ環状道路網が構成され、都市形態がリニアパターンからサークルパターンへと変化することから、白鳥大橋を生かしたまちづくりに取り組んでいるところである。

このような中で、本市のまちづくりプロジェクトとして、中島地区リニューアルプロジェクト、中央地区レインボープロジェクト等が進められている。

ここでは、地元商店街と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいる、中島地区リニューアルプロジェクトについて報告する。

2. 中島地区の位置づけと将来像

中島地区は、国道36号・37号、JR東室蘭駅に隣接するなど、交通の要衝に位置しており、本市の中心商業地として発展してきている。

市内5地区（中央・輪西・東・中島・本輪西）の商業地の内、中島地区は商店数・販売額・商店街シェア等、他地区を大きく引き離し市内最大の商業集積を形成している他、基礎人口に対する販売人口比率も364%と、市内で最も高い広域性を示している。

このようなことから、平成6年度に策定された『室蘭地域商業近代化計画』の中で、中島地区は現在地域型商店街と広域型商店街との中間に位置しているが、市内最大の商業集積という現状から、中島地区の将来像を『西胆振広域生活圏を商圏とする広域型商店街』として位置づけている。

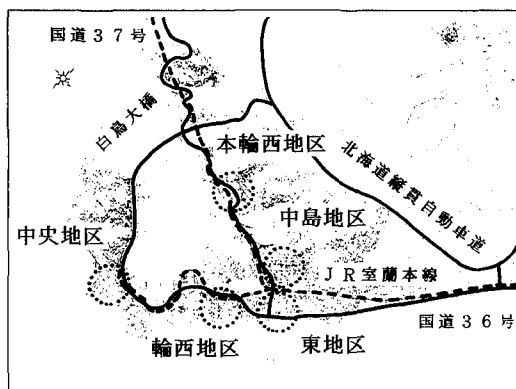


図-1 室蘭市における商業地区位置図

* キーワード 地域計画 プロジェクト構想

** 工務 室蘭市都市建設部まちづくり推進室 都市計画課主幹

*** 室蘭市都市建設部まちづくり推進室 主査

(〒050 室蘭市幸町1-2, TEL 0143-22-1111, FAX 0143-24-2091)

一方、近年周辺都市においては、登別市における大型店の進出・商店街の再開発、伊達市における街路整備（歴史街道）に合わせた商店街近代化事業等商店街の環境整備が進められ、中島地区を取り巻く環境が厳しくなっている。

また、商業近代化計画策定時に行なわれた来街者の満足度調査では、市内5地区の中で一番高い評価は得ているものの、絶対値を見ると消費者ニーズの変化に対応した、広域型商店街のレベルには達していないのが現状となっている。

そのため、中島地区においては、消費者ニーズや商業環境の新たな潮流に対応した広域型商店街の形成が求められている。

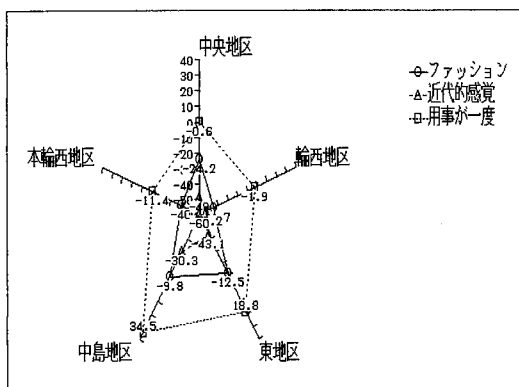


図-2 来街者の地区別満足度

3. 中島地区リニューアルプロジェクト

『中島地区リニューアルプロジェクト』は、中島地区を魅力あふれ、室蘭市の顔にふさわしい広域型商店街とするため、中島中央通の拡幅環境整備事業と、2級河川知利別川“ふるさとの川整備事業”を核とし、関連する種々の環境整備事業等を、地元商店街と行政が一体となって行なおうとするものである。

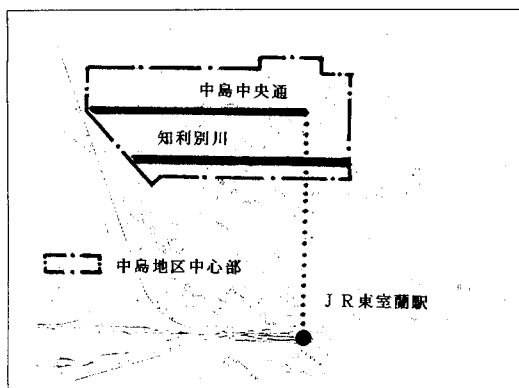


図-3 中島中央通・知利別川位置図

(1) 3・3・211中島中央通（道道中央東線） 拡幅環境整備事業

中島中央通は中島地区の中心商業地を通り、室蘭市を代表する祭りやイベントにも活用されるなど、本市のシンボリックな道路となっている。

しかし、平成2年度の交通量は16,900台/日（混雑度1.17）であり、商業環境に大きな影響を及ぼしている。さらに、将来（平成22年）交通量が18,500台/日と予測されていることから、現在の幅員22mを25mに拡幅整備するものである。また、同時に片側1mづつのセットバックを行ない、公共空間として利用することにより、道路空間として27mを確保するものであり、全長870mの区間について、平成7年度に地区計画と同時に街路変更手続きを終え、今年度から着手した。

なお、中島中央通の整備方針は以下のとおりである。

- ①室蘭市の顔にふさわしく、都市軸として魅力あふれる街路整備を行なう。
- ②西胆振広域商店街の発展を支援し、都市の活性化を促す街路整備を行なう。
- ③市民に愛され、市民に優しい快適な街路整備を行なう。

(2) 2級河川知利別川“ふるさとの川整備事業”

2級河川知利別川は、中島地区の中心部を通る河川であり、市街地部分の約850mの区間が、平成3年度に“ふるさとの川モデル河川”に指定され、平成6年度から“ふるさとの川整備事業”として着手し、概ね7年間の予定で事業が行なわれている。



図-4 中島中央通整備イメージ図

この川の整備においては、『水と緑とふれあう憩いの川』の整備テーマの基に、上流・中流・下流の3ゾーンに区分し、整備を行なうこととしており、平成7年度までに2橋の架替え工事を完了している。8年度はイベント広場を兼ねた『らん蘭橋』の整備が行なわれている。

各ゾーンの整備テーマは、以下のとおりである。

○上流ゾーン：人と緑のたわむれゾーン

(遊水ゾーン)

○中流ゾーン：人と緑のふれあいゾーン

(祭りゾーン)

○下流ゾーン：水と緑の語らいゾーン

(散策ゾーン)

この河川の整備においては、『知利別川整備推進協議会』を設置し、地元の意向を充分反映させて整備を行なっている。

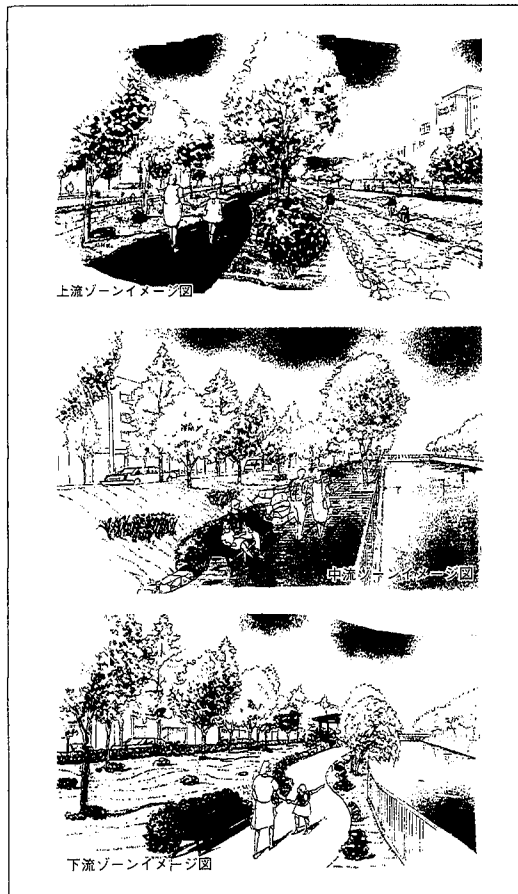


図-5 知利別川整備イメージ図

4. 地元商店街と一体となったまちづくり

中島地区リニューアルプロジェクトにおいては、道々中島中央通・2級河川知利別川の整備を中心としながら、これらを核とするまちづくり全体計画の立案は、地元の積極的な参加により行なっている。

(1) 中島まちづくり委員会

中島まちづくり委員会は、地元商店街として西胆振の中心商業地にふさわしいまちづくりを行なうため、地元商業5団体が中心となり平成7年5月31日に設立された。

平成7年度においては、委員会内に3部会を設け建設省の『まちなみデザイン推進事業』により、今後のまちづくりの方向性について検討を行なった。

8年度については、新たに3部会を追加して以下の部会構成とし、西胆振の中心商業地をめざして、より具体的な検討を行なっている。

○地区ビジョン検討部会

(施設環境・緑化・ソフト面の検討)

○業種専門部会

(必要業種の検討・不足業種の誘致)

○中島中央通整備部会

(まちづくり協定の作成・締結)

○近代化専門部会

(道路整備・近代化事業の検討)

○再開発事業研究部会

(再開発事業制度の学習)

○中島中央通北側地区整備協議会

(北側地区の土地利用・事業手法の検討)

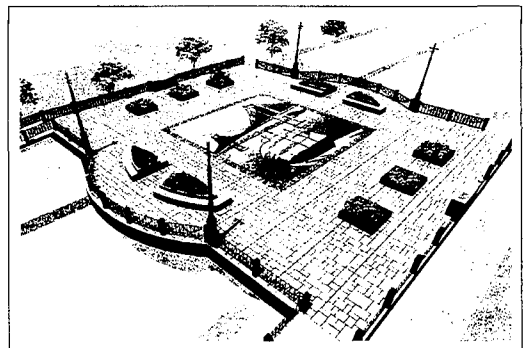


図-6 らん蘭橋整備イメージ図

(2) 地区計画

中島中央通の沿道においては、中心商業地にふさわしい街並形成を図るため、約870mの全線区間において、地区計画の方針が定められており、1期工事の区間については、整備計画として建築物の制限等に関する以下の事項が定められている。

○建築物等の用途の制限

建築物の1階部分については、住居系の施設・倉庫業の倉庫・専用の工場等は建築できない。

○建築物の壁面位置の制限

建築物の1階部分の外壁と、中島中央通の道路境界線までの距離は1.0m以上とする。

○建築物等の形態又は意匠の制限

屋外広告物は美観・風致を良好に保つものとし外壁の色彩は街並にふさわしい色調とする。

(3) まちづくり協定

地区計画に加え、よりきめ細かく街並形成の方針を定めるため、地元商店街においては自主的ルールとなる、まちづくり協定の作成が進められている。

まちづくり協定においては、街路空間の整備コンセプトを初めとして、セットバックの形態、意匠・素材・色彩等のファサード、看板の設置方法、シャッター等の付帯施設、演出方法、運営方法等についての項目が考えられている。

協定作成に向けた作業は、地元を中心に平成6年度から進められており、今年度細目の検討と関係者の合意形成を図り、締結を行なう予定である。

(4) 行政のかかわり

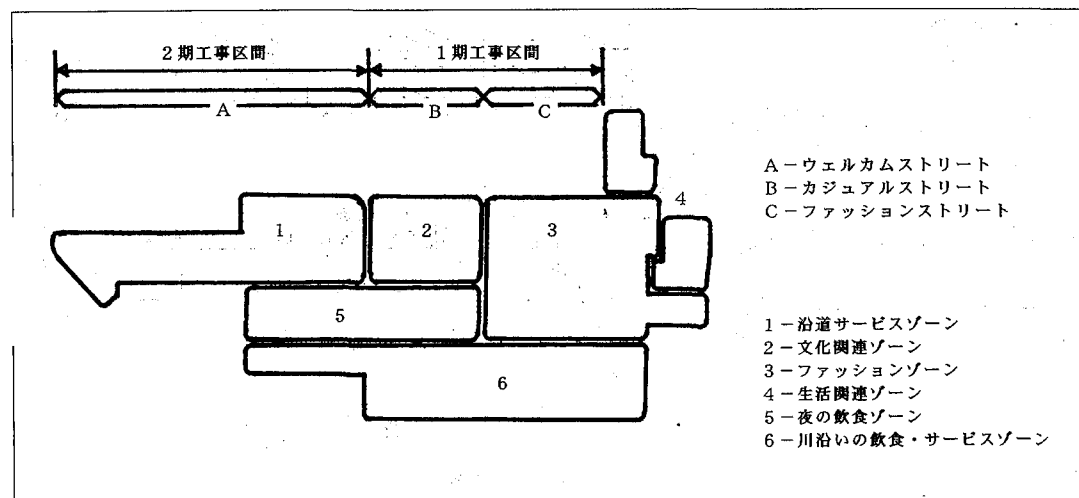
中島地区リニューアルプロジェクトにおいては、公共事業を初めとして種々の事業を予定しているがまちづくり、特に商業地においては、商業を営む個々の商業者の意向と意識の高まりが、重要な要素となる。

そのため、計画策定の過程においては、地元における意識啓発の輪を広げながら、行政は地元の取り組みを進めるための裏方として機能しており、平成7年度においては延べ70回に渡り、地元との打合せ会議を行なった。

5. おわりに

ここでは、まちづくりプロジェクトの内、中島地区リニューアルプロジェクトについて報告を行なったが、現在工事が進められている白鳥大橋の整備効果は計り知れないものがあり、この橋を有効に活用する様々なプロジェクトが進められているところである。

今後、白鳥大橋の完成を契機として、本市の顔も大きく変わるものと考えている。



図ー7 中島地区まちづくり全体計画図